

八王子市における廃食用油発電実現に向けた回収実験

活動地域  東京都 八王子市

ひろげる助成

2年目

実践

「顔の見える発電所」への切替数 **85** 世帯

回収した廃食用油の量 **4,037** ℓ

今年度計画の達成度 **50** %

目標達成度 **70** %

苦労した点と工夫した点

■ 苦労した点

ろ過手法の検討や配管設計に至るまで、専門的な知識を学びながらの作業であったために、回収プラントの設備づくりに予想以上の時間を費やした。

■ 工夫した点

廃食用油回収拠点は汚れやすく、酸化した油の固着する床や、回収容器の洗浄が容易ではないことから、高圧洗浄機や業務用の洗浄機を導入し省力化を図っている。



油回収拠点の見学会

課題

地域の発電所は、環境についての啓発効果が高く身近な資源の循環についての理解が促進される可能性があり、また発生する熱も温水や暖房として活用することができる。

目標

廃食用油による発電の実現に向けて、実際の業務で顕在化する課題を反映した事業計画作りと、支援者とのネットワークや、事業連携のために他団体との関係性を構築する。

活動内容と成果

- 現地見学会を行った (参加者62人)
- 高尾グルメシティをはじめ飲食店や福祉施設などに廃食用油の回収ポストを設置。合計4,037ℓを回収
- 消防法令等の規制について調査を行った
- 廃食用油発電を日常的に行うことで、イベントや畑等への電源供給を行った
- 他地域でSVO (植物油) プラントを運営している活動の視察と意見交換を行った
- その他、地域の大学や団体などを訪問し、事業的な連携の可能性を模索した



牛舎内の廃食用油のろ過システム



プロジェクトの連携について他団体と協議

全助成期間の活動を振り返って

はじめる助成の1年間とそれ以前の検討期間を含めて4年間の計画となり、市場の変化が激しく、根本的な目的の再確認など、随時やることが必要だった。啓蒙とともに、実際に油処理施設を構築できたことの意味は大きく、次の活動につながった。期間中、活動推進の人員を維持することが容易ではなかったが、サポーターや連携する団体の関心の高さと、助力により、PRイベントや油の回収などについても実施することができた。

〒192-0082
東京都八王子市東町3番4号
電話：080-3774-8022
E-mail：info@8ene.org
HP：http://8ene.org



今後の展望

日量500ℓのSVO製造が可能となったことで、これまで以上に廃食用油の回収が可能となる。とりわけ都市部において、エネルギー密度の高い食用油のカスケード利用の重要性はますます高まっている。実際に回収を行うことで、様々なコスト計算やリスク想定を行い、さらに農業用施設や福祉施設との事業連携を実現するために、回収業務、ろ過精製、発電、そして熱利用に至るまで、具体的な課題として整理し、協議を重ねたい。